

文<sup>ぶん</sup>や 文<sup>ぶん</sup>しょうを 正<sup>ただ</sup>しく 書<sup>か</sup>く こと

名削

がくまの山

ポイント

○「て」「に」「を」「は」について りかいし、文<sup>ぶん</sup>を 正<sup>ただ</sup>しく 書<sup>か</sup>けるように しましう。  
○文の おわりの 表<sup>ひょう</sup>げんを 考<sup>かんが</sup>えましよう。

ドリル

1 つぎの 文<sup>ぶん</sup>の □で かこまれた ことばを 正<sup>ただ</sup>しく 直<sup>なお</sup>して、「て」「に」「を」「は」の いずれかで 答<sup>こた</sup>えなさい。

(1) わたしに □ たまごやきが だいすきです。

(2) あそこに いる おとうさんに、 しんぶんを わたしを □ きて ください。

(3) ぼくは □ がっこうを あんないして ください。

(4) おかあさんは ぼく □ びょういんに つれて いきました。

2

つぎの文の（ ）のところに 入れるのに、ふさわしい ことばを あとから 一つずつ えらび、①から③の 番ごうを 書きなさい。

(1) とっても いい においが するから、これは きつと（ ）。

- ① おいしかった
- ② おいしいだろう
- ③ おいしくないだろう

(2) きのは あめが ふって、しあいが（ ）。

- ① ちゅうしに なった
- ② ちゅうしに なるだろう
- ③ ちゅうしに なるかもしれない

(3) 「先生、わからない ところが あるので、（ ）」。

- ① おしえなさい
- ② おしえるのです
- ③ おしえて ください

(4) わたしが しょうらい になりたいのは、（ ）。

- ① ケーキやさんです
- ② ケーキやさんに なりたいです
- ③ ケーキやさんだからです

文や文しょうを正しく書くこと

ドリル

かいとう

ヒント

1

(1) は  
(2) て  
(3) に  
(4) を

2

(1) ②  
(2) ①  
(3) ③  
(4) ①

1

(2) 「わたしで きて ください」と  
いう 言いかたに 直します。  
(3) 「ぼくに あんないして くださ  
い」という 言いかたに 直し  
ます。

2

(1) 「いい においが するから」と  
あり、まだ たべて いない こと  
が わかります。それと、すぐま  
えの「きつと」と あわせて、「お  
いしいだろう」を えらびます。  
(2) 「きのうは」から「ちゅうしにな  
った」を えらびます。  
(3) 先生に おねがいを する と  
きには、らんぼうな ことばでは  
なく、ていねいな ことばづかい  
を します。  
(4) すぐ まえの「なりたいのは」  
に あう 言いかたを えらびま  
しょう。